

伸びやかな校風の中で

小苺米淳一（新13回生）

私は小学校の頃はあまり勉強しなかったよ
うで、両親は進学には色々と頭を悩ませて、
岩中に入學させることになったらしい。担当
の先生は池口先生で、池口先生は新任で張り
切っていて良い感化を受けた。あまり勉強好
きではなかった私も、さすが二年の頃から真
面目に精を出すようになり、三年には他の高
校に進みたい意向を持っていたが、母親が池
口先生と相談した結果、「せっかく、淳一君
をここまで引張つて来て、他の高校に行く
ことになる」とすれば、寂しい限りです。」と
言われて、親も私も断念することになった。

部は体操部に入った。マツト、あん馬、鉄
棒と色々やったが、それも一年程度でやめて
勉強の方に精を出した。体が硬いほうで、私
は体操は向かないと自覚したこともある。

高校になって日野岳先生が担任となった。

不思議と勉強のことより、そこから離れた戦
争の時の話が良く印象に残っている。皆もそ
れについては興味深く聴いたので、先生も話
をして楽しかったに違いない。他の先生方も
今になって考えてみると個性的で情熱的な先

生が多かった。生物の小山先生も面白い先生
だった。試験に「哺乳類で単細胞の動物はい
るかどうか」と出題されたことがある。私は
考えてみて否と答えたのだが、先生は「受精
卵は哺乳類で単細胞であるからして単細胞の
哺乳類はいる」という答だった。疑問を抱い
ていた生徒は多かったようだが持ち前の人柄
と温かさで問題にした者はいなかった。

高校内には全体にそんな伸びやかさがあつ
た。先生の情熱とやり方で課目も好きになつ
たり、嫌いになつたりする。私は英語が好き
になり、英語劇もやり英語の歌も良く口ずさ
んだ。子供達も影響を受けて、皆英語好きに
育つた。

休日ともなるとほとんど川に魚を捕りに行つ
た。中津川の近くに生まれたいせいか幼少の頃
から川遊びが好きで水中ピストルを自前で作つ
て川に潜るのだが、同級の及川洸（現在一高
の英語の先生）とは自転車で外山ダムの近く
まで行き深山のイワナを追うのに夢中になつ
たものである。

私は高校の頃はどちらかというとおとなし

い、目立たない方だったと思う。家に帰つて
三時間ぐらいの自習でも猛勉強の部類に入り、
渾名は「ガリ」だった。高校二年の時、家が
スーパーマーケットに転業した。今まで経験
したことのない多くの来客を見て感激し、商
業の道を選んだ。日野岳先生のアドバイスも
あり、明治大学商学部に進んだ。早くから進
む道を決めたのは今になって考えて見て良かつ
たのではないか。

岩高には面白い個性のある先生がたくさん
いた。今のようなガツガツした詰め込み教育
ではなかった。ゆつたりした、結構人間臭い
伸びやかさがあつた。

私はそのような校風の中で中学、高校を経
たことを大変有難く思っている。だから反対
に今の子供達は可哀想にも思う。中学、高校
の頃は知識・勉強ばかりでなく基本的な人間
的素養を養うことも大切に思う。多感な時期
でもあるので、その時に育つた素養が一生の
財産にもなる。

私は今、(株)ジョイスの社長をさせていた
だいている。数ある経営者の中でも勉強好きの
方に入っていると思う。しかし幼少の頃から
良く学んだわけではない。小学校はクラスで
下から数えた方が早かつたし、中学校の半ば
から、先生の感化力で漸くその気になった。

高校の半ばから勉強には時間を削つたが、今

の受験勉強のすごさに比べればさほどでもない。私は子供三人にも高校に入るまでは勉強よりスポーツを中心にやるように育てた。今、子供達の活発さ、主体性、責任感を見てそれ

で良かったと思っている。教育はむしろゆっくりにの方がいいように思う。
先生方の教育上の本当のご苦労は若い頃は仲々解らない。子供を育てるのに苦労して、

部下の教育に努力して、若い頃をゆっくり振り返ってみて解る。文章を書きながら、改めて先生方のご苦労に御礼申し上げる次第です。

(株)ジョイス社長